

令和4年度 ジュニアリーダースクール報告書



日時：令和4年8月4日（木）～8月5日（金）

場所：山口県スポーツ交流村（光市）

山口県スポーツ少年団



【開校式】

ジュニアリーダー代表宣言を少林寺拳法防州スポーツ少年団の渡邊琥太さんが元気よく宣言しました。



【班別・係別ミーティング】

初めての活動は、各班で自分の役割（係）を決めました。



【交歓活動】

スポーツ少年団の歌「緑の朝風」をみんなで元気よく練習しました♪



学習【スポーツ少年団とは】

⇒スポーツ少年団はどんな団体だろう？

子どもたちはスポーツを楽しむだけでなく、学習活動、野外活動、レクリエーション活動、社会活動、文化活動などを通じて協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりのこころを学ぶ団体です。

誰が ⇒子どもたちが
いつ ⇒自由時間に
どこで⇒地域社会で
なにを⇒スポーツを中心とした幅広い活動を
どのようにして⇒グループ活動で

◇スポーツ少年団の理念◇

- ・一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを提供する
- ・スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てる
- ・スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する

⇒きみのスポーツ少年団はどのタイプ？

単一種目タイプ

年間を通してサッカー、バレーなどの一つの種目を中心に行います。

複合種目タイプ

年間を通していろいろな種目を行います。



子どもの中に、より多くのスポーツ種目や野外活動、レクリエーション活動などの体験をすることは、これから大人になるために必要な健康・体力づくりに役立ち、一生続けるスポーツの基礎を身につけるうえで大切なことです。いずれのタイプでも、幅広い活動が好ましいです。

【朝・夕べのつどい】



学習【スポーツ少年団のリーダーとは】

《活動名：マシュマロリバー》

～向こう岸にいる仲間を助けよう～

【説明】

- ①ロープとロープの間は、川になります
- ②水に浮く、石（カーペット）を5枚用意します
- ③石が、体から離れると流されてしまいます
では、作戦を立て仲間を助けましょう☆
- 作戦①タイミングを合わせる
- 作戦②最後の人は必ず石を回収しておく

★みんなで話し合い、協力することを学びました★

【グループテーマディスカッション】

テーマ①「スポーツ少年団活動でこんなことが不安・困っている」2・3班

- ①メンタル面【やる気が出ない、責任が増える】

➡自分たちの意見が言える場を作る

- ②指導面【指導者の言うことを聞かずに他のことをしている、注意しているのに直そうとしない】

➡仲間どうして教え合う

テーマ②「リーダーとしてこんなことが不安・困っている」1・4班

- ①伝える【低学年にどう伝えていいのか分からない】 ➡具体的にお手本として実際にやってみせる
 - ②メンタル面【人前に出ると緊張する、声をかけるのが苦手】 ➡人前で話すことを多くし慣れる
- ★話し合うことで、違う意見を聞くことができ新たな発見ができることを学びました★



【仲間とのふれあい活動：ACP】

【目的】

- ①リーダーとしてACPで幼児や低学年の身体能力を高めていく視点をもとう
- ②ACPをアレンジすることで、遊びの楽しさが変化することに気づこう

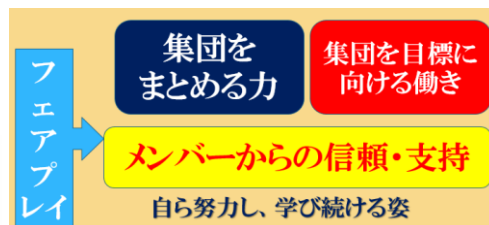
★普段の遊びから、からだを動かす楽しさを学びました★



学習【よりリーダーになるために】

望まれるリーダーとは？

- 団員の気持ちを考え聞いてあげる
- 団全体のことを考えて目標の達成のために行動する



★自ら努力し、学び続けることの大切さを学びました★

<ジュニアリーダースクールを受講して>

良いリーダーとは”フェアプレー”が大切だと学んだ。他のメンバーから信頼・支持されるリーダーになりたいと思った。 防府市：藤井佑緯

人からなにかをされるのを待つのではなく、自分からなにかをすることが良いリーダーへの第一歩なのだった。 山口市：渡邊琉太

困っている人などがいたら、積極的に声をか助けてあげたいと思った。 山口市：岩崎蒼大

リーダーとは何か、私が思うリーダーとは、仲間を引っ張っていけることだと学びました。
山口市：築出菜都美

困った人がいたら周りの人達と協力して解決していくことがリーダーだと思った。
周南市：吉岡 准

遊びもスポーツの一つであることを知りました。
周南市：明石梨央奈

仲間・協力することの大切さを改めて学びました。
周南市：藤井心糸

他人への思いやり＝フェアプレーを大切にしていきたいと感じました。 周南市：永井千琉

みんなで話あい、問題を解決することの大切さを学びました。 周南市：檜部莉菜

リーダとは、気軽なものだと思っていたけど、とても重要なんだと学んだ。 田布施町：山本早織

今まで全く知らなかったことを学ぶことができた。
なによりたくさんの仲間が出来たことがうれしかった。
防府市：道源清正

仲間と話し合うことで自分にはなかった視点で解決策を教えてもらうことができた。
山口市：長友唯樹奈

単位団や団員の人数が減っていると知ったときは少し悲しくなりました。 山口市：町田琉唯

マシュマロリバーでは、全員がどうすればうまく渡れるかを考え協力をすることで渡ることが出来て良かった。 山口市：石田りほ

A C Pで学んだ遊びを取り入れながら、低学年がスポーツ（バレーボール）に興味をもてるような活動をしていきたい。 宇部市：西村美玲

スポーツ少年団を支える人、関わっている人がたくさんいることを知りました。宇部市：石井春妃

自分優先ではなく、仲間のみんなに目を向けれるように意識して、みんなに頼られるリーダーになりたいと思った。 周南市：大森桃菜

これからの活動に遊ぶ活動を増やし、楽しくスポーツをしていきたいと思った。
田布施町：魚崎七穂

お互いを信用し・頼り合うことでより良い意見が出せると学びました。学んだことを生かし、積極的に地域・リーダー活動に参加したいです。
平生町：中村和愛

☆河藤リーダー☆

ジュニアリーダースクールやリーダー会の活動は、リーダーとしてではなく自分自身の成長にもつながります。同じ単位団だけでなく、いろんな単位団の仲間と出会い、つながり、成長することができます。今回のスクールをきっかけにしてリーダーとして、人間としてステップアップしていきましょう！！

☆北野指導員☆

今回指導員として初めて参加させていただきました。コロナ禍で例年とは異なる形での開催となりましたが、ジュニアリーダーの皆様の協力があり安全に実施することができました。

初日は緊張感が見られましたが、交流の中で仲間との絆を深め、自ら考えそして自分の意見を形にして発表する姿に感銘を受けました。2日間という短い期間でしたが、皆さんの成長を間近で見ることができ私自身も指導員として大変貴重な経験となりました。

良きリーダーとして、責任感を持つことは大切ですが、力み過ぎず自分自身が楽しむこと、そして人を思いやる心を大切にしてください。

皆様の今後の活躍を心より楽しみにしております。